

2 JavaScriptを使ったトランプゲームの制作

メンバー

電子情報科 3年

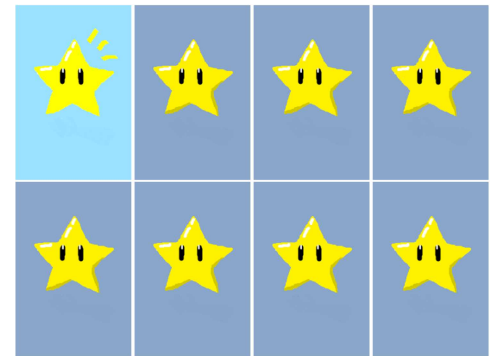
日下部 優奈 高平 流花 中谷 朱李

研究の目的

JavaScriptについて理解を深め、基本的な神経衰弱のプログラムを作成し、さらにプログラムを工夫して考えた通りの動きになるか検証する。

研究の内容

—基本的な神経衰弱—
複数組のカードをシャッフルし、伏せた状態で並て表示する
1枚目と2枚目のカードを比べる
合っていればそのまま表示され合っていなければ元に戻る
全部取り終ればゲーム終了
また、間違えた回数が制限を越えた場合はゲームオーバー



- 追加要素— (ゲームのレベルや楽しみ方を変化させる)
- ・枚数選択
好みのペア数を選択。(3ペア～12ペア)
 - ・時間制限
制限時間を選択。時間が来るとゲームオーバー
(1分～5分)
 - ・対戦機能
2人でプレイすることができます。ミス毎に交代していき
絵柄が合っていればポイントが加算され、間違えると交代
 - ・スコア
時間の経過とともに加算されていくためスコアが
小さいほうが良い
 - ・ミス1回でゲームオーバー
すべてのペアを間違えずに合わせなければゲームオーバー
 - ・2枚目にめくったカードの絵が見えない
1枚目をめくり2枚目を選択したとき同じ絵柄でなければ
2枚目の絵柄を見ることが出来ない

—その他—

- ・音
カードをめくるときに音が鳴る
間違えたとき合っていたときも音が鳴る
- ・カード
まだめくっていないカード上に
カーソルを乗せると色が変わる
- ・カードのデザイン
ペイントを使ってカードを作成
表と裏の違いが判りやすい絵柄に

研究の成果

JavaScriptについて学ぶことができた。お互いの知識を共有し意見を出し合うことで、作業が進められるようになることが分かった。何度も失敗したが、自分達の考えたプログラムが思っていた通りの動作をするようになった。